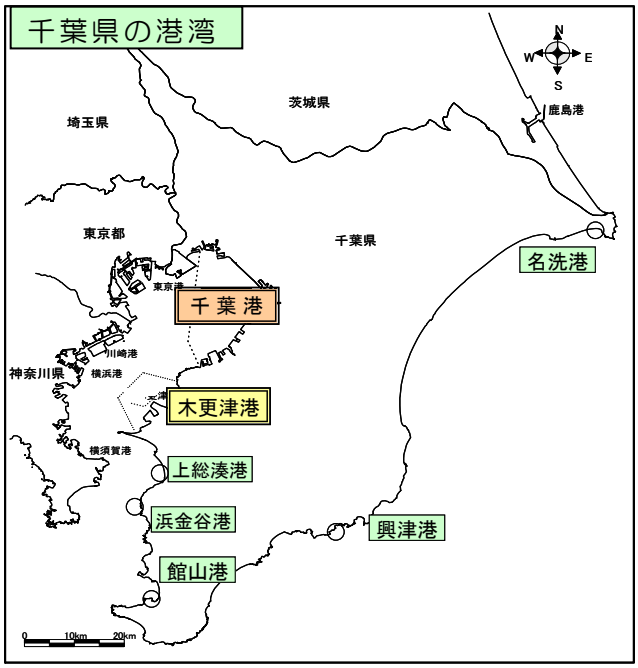
# 第５　港　湾

## 港湾の概要

本県には国際拠点港湾である千葉港をはじめ、重要港湾の木更津港、地方港湾の上総湊港、浜金谷港、館山港、興津港及び名洗港の７港湾があり、産業振興や地域経済の活性化に重要な役割を担っています。県はこれらの港湾の管理者として整備、管理運営を行うとともに、港湾の利用促進を図っています。



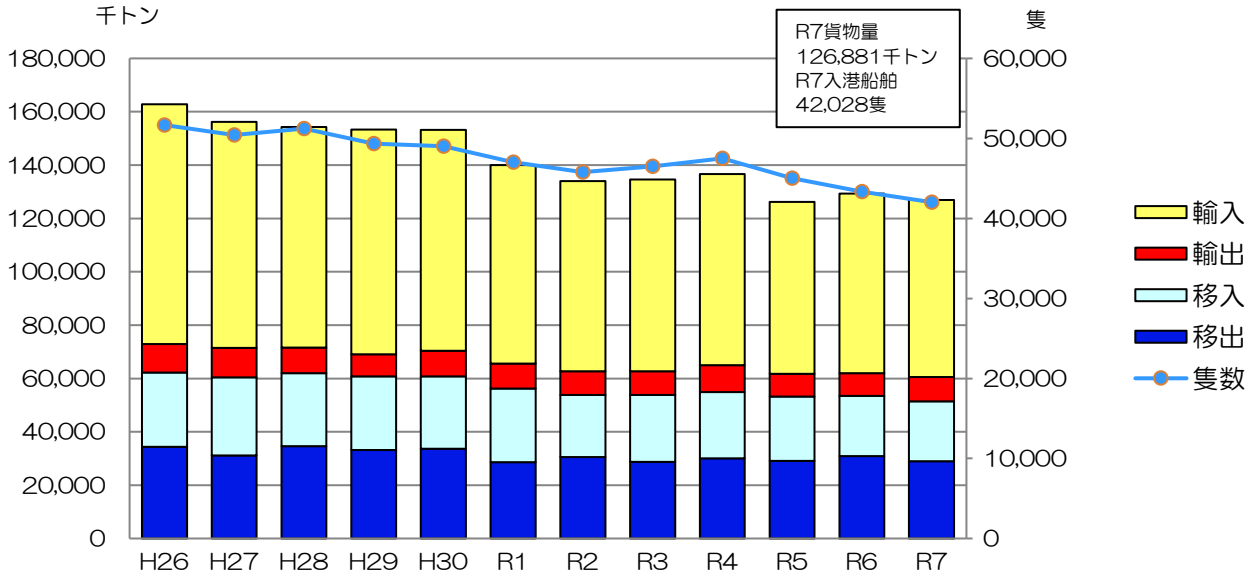
千葉港（国際拠点港湾）



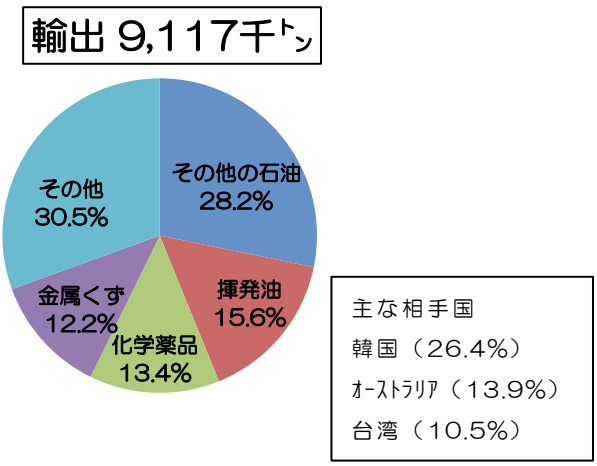

| 港格）港域面積 | 港湾の特性 |
|---|---|
| 千葉港<br>拠点）　24,800ha | ・石油コンビナート、製鉄所、ＬＮＧ基地、火力発電所などの大規模施設が集積しています。取扱貨物は臨海部立地企業の原材料、製品、完成自動車などを主体としており、全国第２位の取扱量となっています。<br>令和７年において、取扱貨物量の約９%を公共埠頭で、約９１%を専用埠頭で取り扱っています。<br>・東京港、横浜港に比べ規模は小さいものの、コンテナ貨物も取り扱っています。<br>・千葉ポートパーク、幕張から稲毛に至る日本一長い人工海浜などが整備されています。 |
| 木更津港<br>重）　7,300ha | ・製鉄所、ＬＮＧ基地、火力発電所などが立地しています。取扱貨物は、臨海部立地企業の原材料、製品を主体としており、全国有数の取扱量となっています。<br>・千葉県で産出する山砂の首都圏への出荷基地となっています。<br>・鉄鋼業の国際競争力強化を図るため、「国際バルク戦略港湾」（鉄鉱石）に選定されています。 |
| 上総湊港<br>地）　160ha | ・湊川河口に位置し、小型船の船だまりとして利用されています。<br>・階段式護岸や駐車場等が整備されており、海水浴場としても利用されています。 |
| 浜金谷港<br>地）　130ha | ・久里浜と結ぶフェリーの発着場となっています。<br>・県内で産出する砂・砂利などの出荷基地となっています。 |
| 館山港<br>地）　700ha | ・全国に１３港ある特定地域振興重要港湾の一つとして選定されており、多目的桟橋も整備されるなど、南房総地域の観光レクリエーション振興のための重要な拠点となっています。<br>・コンクリート等に利用する骨材の移入を行っています。 |
| 興津港<br>地）　80ha | ・自然景観、自然環境の豊かな港であり、小型船の船だまりや海水浴場として利用されています。<br>・荒天時に小型船が避難するための避難港に指定されています。 |
| 名洗港<br>地）　580ha | ・海洋性レクリエーション拠点港湾として指定され、マリーナや海浜が整備されています。<br>・荒天時に小型船が避難するための避難港に指定されています。<br>・銚子市沖洋上風力発電事業のメンテナンスの拠点として活用されます。 |

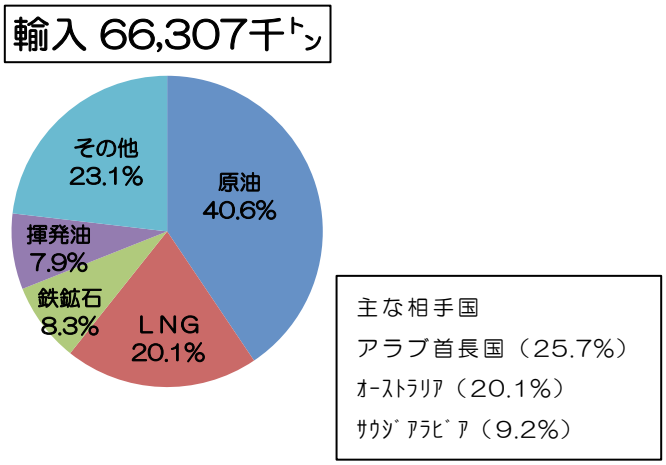
注　拠点）国際拠点港湾：国際戦略港湾以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる政令で定められた港湾（全国に１８港湾）。
　　重）重要港湾：国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する政令で定められた港湾（全国に１０２港湾）。
　　地）地方港湾：国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾（全国に８０８港湾）。
（参考）国際戦略港湾
　長距離の国際海上コンテナ輸送に係る国際海上貨物輸送網の拠点となり、かつ、当該国際海上貨物輸送網と国内海上貨物輸送網とを結節する機能が高い港湾であって、その国際競争力の強化を重点的に図ることが必要な港湾として政令で定められた港湾（全国に5港湾）。

千葉港【入港船舶・海上出入貨物　年次推移】

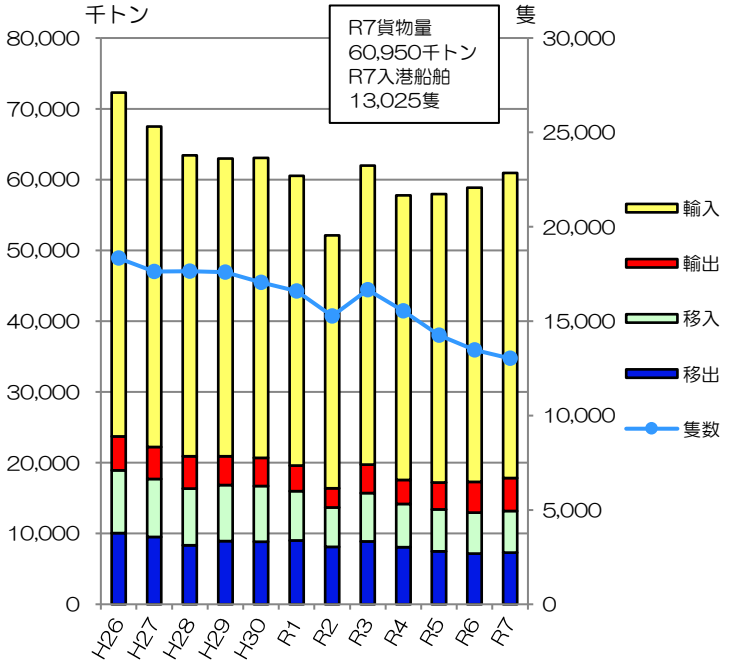



千葉港【外国貿易・主要品目Ｒ７年貨物取扱量（千ﾄﾝ、％）】

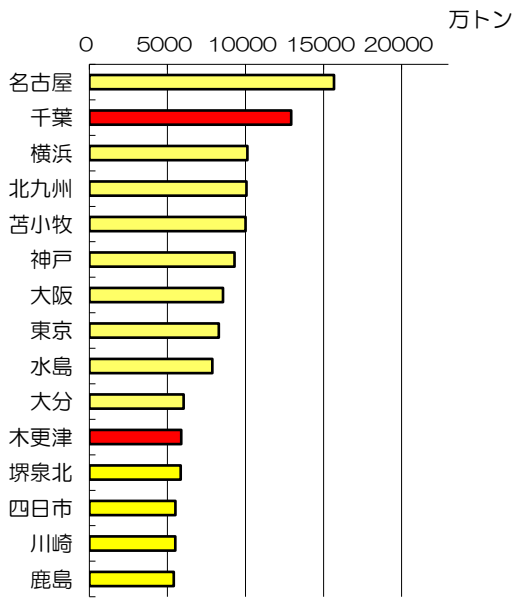



木更津港【入港船舶・海上出入貨物　年次推移】



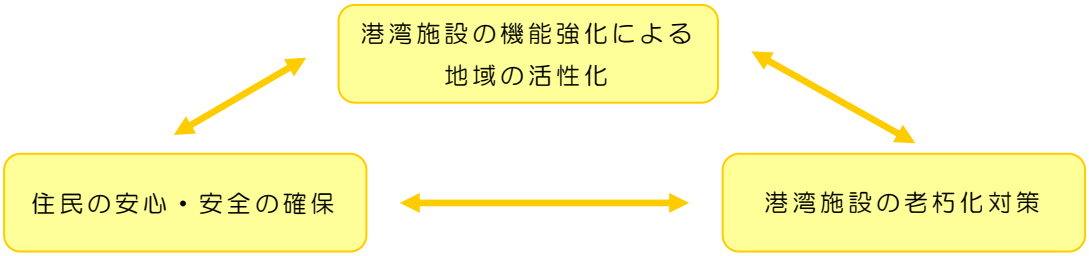

【全国の港湾の比較（令和６年海上出入貨物）】



## 港湾の整備

### （１）整備方針

３本の柱に沿った整備方針で、各港に適した整備を推進します。




○　三方を海に囲まれている地理的条件を活かしながら、人、もの、文化が交流する海と陸とをつなぐ拠点として、暮らしや産業をサポートし、県民の生活の向上や経済の持続的な発展に貢献します。

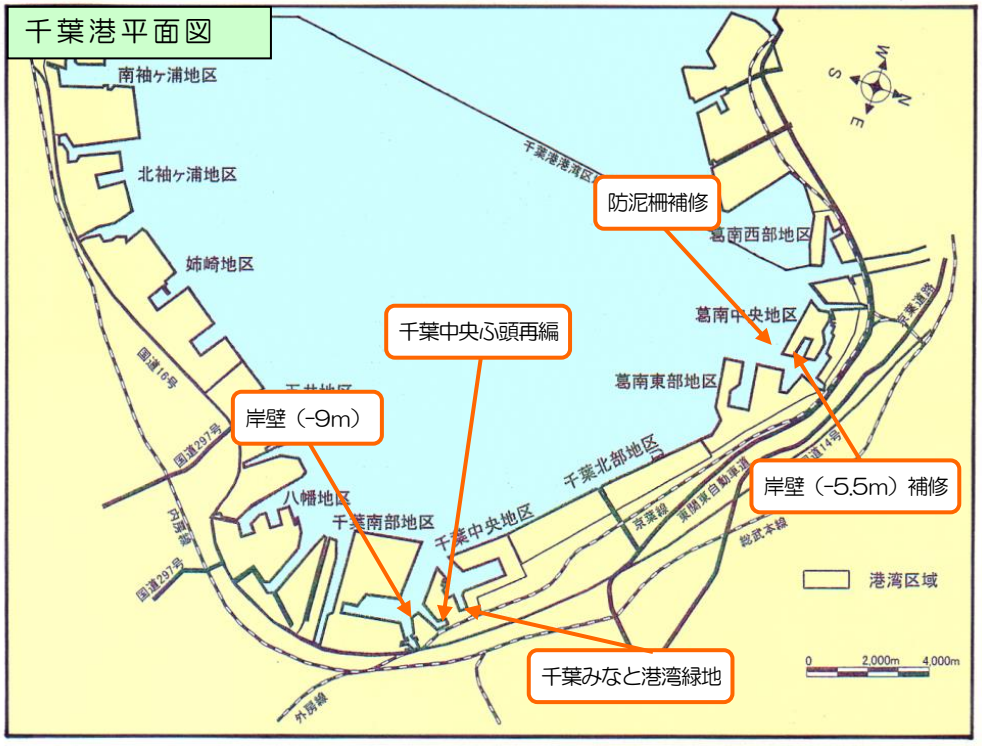
○　千葉港、木更津港では、大型船舶に対応するための施設整備を進めるなど産業基盤である港湾物流機能を強化するとともに、水際線ににぎわいの場を創出し魅力ある港湾空間の形成を図ります。

○　地方港湾では、物流機能に加え地域観光ネットワークにおける海の玄関口としての整備、海洋性レクリエーション拠点の形成を進め、個性ある地域社会の活性化に貢献します。

○　大規模な地震などの災害時に緊急物資などを輸送するための耐震強化岸壁の整備や、災害時に避難地として機能する港湾緑地の整備を図ります。

○　より使いやすい港となるよう、また、港湾利用者の意見がこれまで以上に反映されるよう努めるとともに、海域環境の保全、ライフサイクルコストの削減、費用対効果などについて一層配慮することとします。

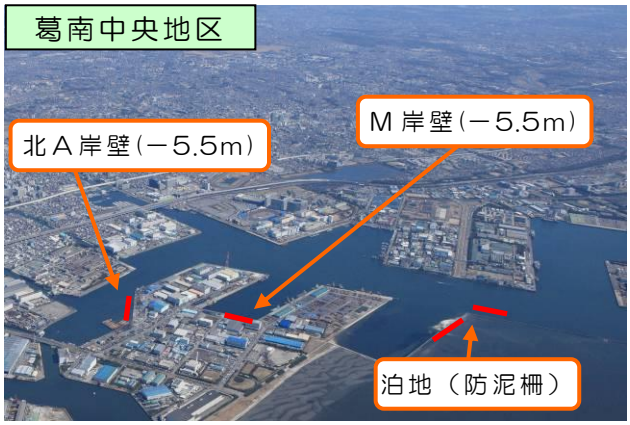
### （２）各港の整備



## 葛南中央地区

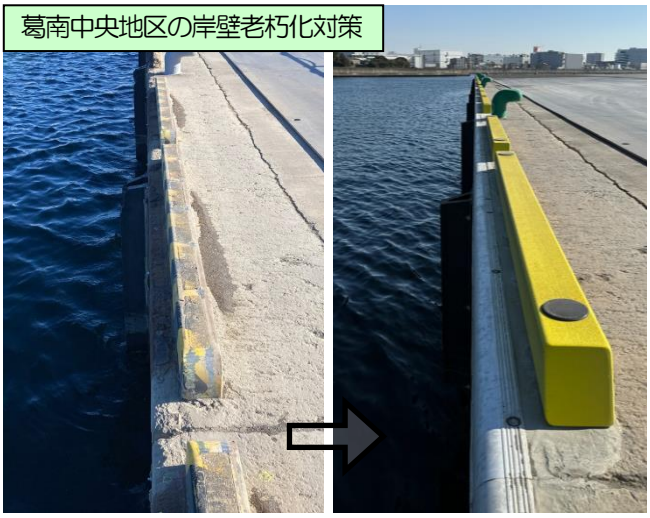
- 既存の－１０ｍ岸壁※を、30,000トン級の大型船舶の接岸が可能な－１２ｍ岸壁に改良し、あわせて耐震強化機能を持たせる整備事業を国の直轄事業として進め、平成２６年度に整備が完了し、供用を開始しています。現在は、防泥柵の補修工事を実施しています。
- 老朽化対策として、北Ａ岸壁（－５．５ｍ）、Ｍ岸壁（－５．５ｍ）の改修工事を実施しています。

※－１０ｍ岸壁：干潮時でも水深１０ｍが確保できる岸壁



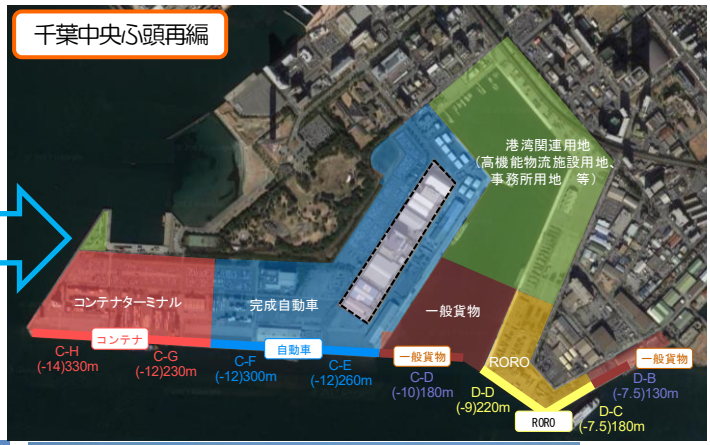

## 千葉中央地区

- 船舶大型化や貨物取扱ヤードの不足等の課題の解消を図るため、平成３０年１１月に改訂した千葉港港湾計画改訂に基づき、千葉中央地区の埠頭再編を進めています。
- 令和２年度より、埠頭再編の最初の施設整備となる出洲埠頭Ｄ岸壁（－９ｍ）を国の直轄事業として進めています。
- 併せて、埠頭再編に係る埋立事業に向けて、船舶移転に係る関係機関と調整や埋立護岸の設計を進めています。
- 千葉港の玄関口にふさわしい賑わいある親水空間を創出するため、千葉みなと駅前に緑地プロムナード等の整備を進め、令和２年度に整備が完了し、令和３年４月から供用を開始しています。







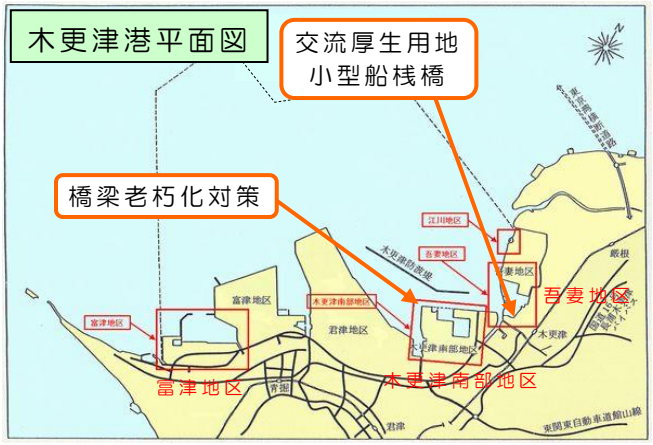








令和元年１１月４日『ピアフェス』開催状況










**吾妻地区**

・　市が進める「みなとまち木更津再生プロジェクト」を支援するため、港の再開発を実施しており、地区内に係留している船舶の移転先となる木更津南部地区の整備に向けて関係者との交渉を進めています。

**木更津南部地区**

・　外内貿物流機能の拡充や近年の船舶大型化に対応するための施設、－１２m岸壁が整備されており、平成２８年度から国の直轄事業において大型クルーズ船の受け入れに向けた係船柱、防舷材等が整備されました。

・　防災・減災、国土強靭化のための５か年緊急加速化対策として、２号道路第２橋梁の耐震改良を行い、引き続き塗装の塗替え等の老朽化対策を行います。




**港湾の保安対策**

平成１３年９月の米国同時多発テロ事件を契機に、船舶と港湾施設の保安対策の強化を図ることを目的として、ＩMO（国際海事機関）におけるＳＯＬＡＳ条約（海上人命安全条約）が改正され、加盟国にはその対応が義務付けられました。

千葉県では、千葉港及び木更津港で対象となる公共埠頭において、フェンス、門扉、保安照明、監視カメラなどの施設を整備し、出入口管理や巡回警備などを実施しています。



| ＳＯＬＡＳ対応岸壁 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 千葉港 | | | 木更津港 | |
| 船橋中央 | －12m岸壁 | －10m岸壁 | 木更津 | －12m岸壁 | －7.5m岸壁 |
| | －7.5m岸壁 | | 富　津 | －7.5m岸壁 |
| 千葉中央 | －12m岸壁 | －10m岸壁 | | |
| 市原 | －7.5m岸壁 | | | |
| 袖ケ浦 | －7.5m岸壁 | | | |

**館山港**

- 南房総エリアの緊急物資輸送拠点として、－５．５ｍ耐震強化岸壁が整備されています。
- 地域観光ネットワークの海側の玄関口として、旅客船等が着船できる多目的桟橋が平成２２年４月より供用開始されています。多目的桟橋の更なる利用促進が図られるよう機能強化や老朽化対策を図っています。






**名洗港**

- 海洋レクリエーション拠点として銚子マリーナにプレジャーボート係留桟橋が整備されています。
- 令和２年７月に、名洗港港湾区域の前面海域（約 40km$^2$）が「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域利用の促進に関する法律」に基づく促進区域として国からの指定を受け、洋上風力発電事業の維持管理拠点として港の利用が見込まれるため、防波堤などの整備を進めています。

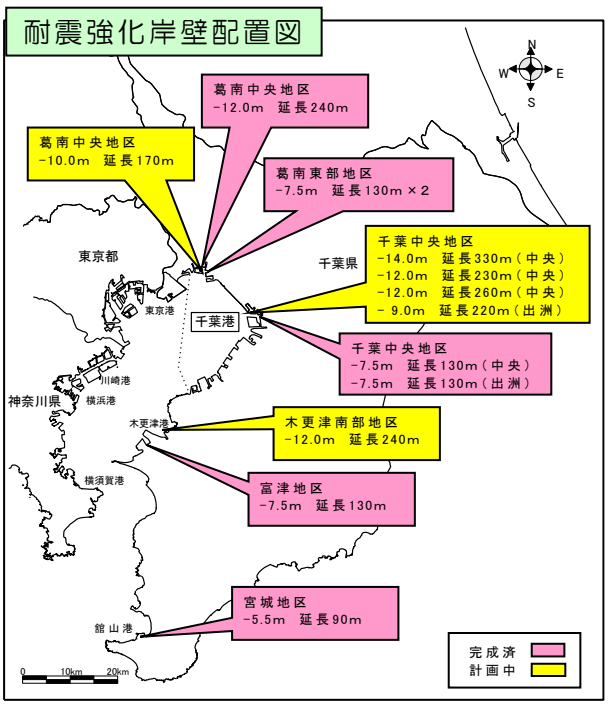






**上総湊港、浜金谷港、興津港**

- 上総湊港では、主に小型船を対象とする船だまりが整備されています。
- 浜金谷港では、砂・砂利の積出に必要な施設が整備されています。また、久里浜と結ぶフェリーの発着場としても利用されています。
- 興津港では、主に小型船を対象とする船だまりが整備されています。




## （３）耐震強化岸壁の整備

港湾は、大規模地震発生時に、住民の避難や緊急物資などの輸送に重要な役割を果たす必要があります。このため、千葉港、木更津港及び館山港では、大規模地震発生時にも施設の健全性を保つことができる耐震強化岸壁の整備を進めています。

## 港湾の管理運営

公共岸壁、荷さばき地、緑地などの港湾施設を良好な状態に維持管理するとともに、各種利用申請の受付や安全確保のための港湾パトロール、海面清掃などを実施しています。

また、船舶給水、港務通信、曳船・通船業務など船舶や港湾荷役活動に必要なポートサービスの提供やあっせんを行っています。



港湾緑地の維持管理



清掃船による港内の海面清掃



防災・給水等多目的船「若葉」



油吸着マットによる流出油の除去

## 港湾の利用促進

ア　ポートセールスの実施

県内港湾の利用促進を図るため、県内外の荷主や船社等の関連企業・団体に対して、「千葉港ポートセミナー」の開催や個別訪問を実施するなど、より一層の利用拡大に向けて働きかけを行っています。

イ　コンテナターミナルの利用促進

千葉港における輸出入コンテナ貨物の増加を図るため、平成２１年度から千葉中央埠頭コンテナターミナルを利用する荷主を対象として、補助金による助成を行っています。



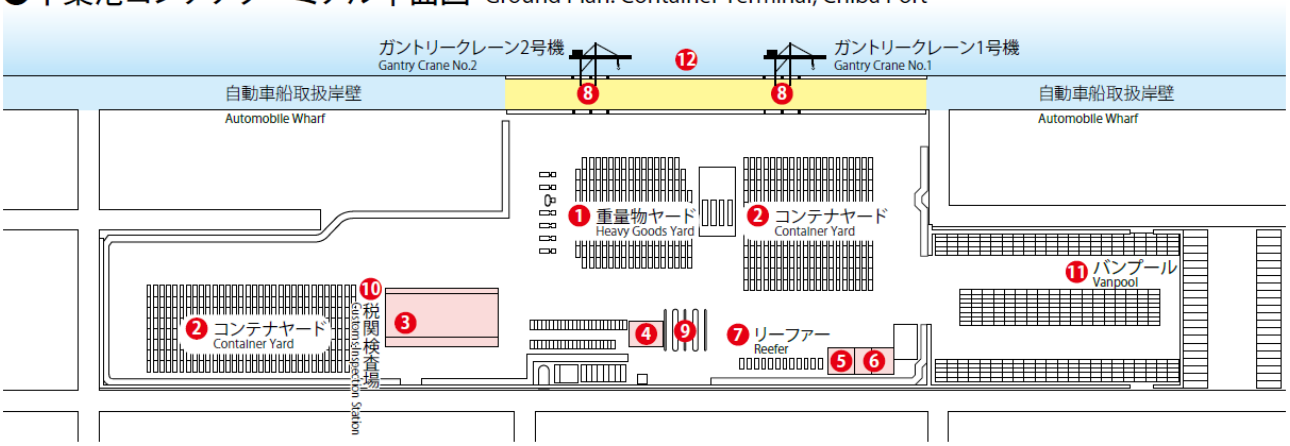
令和７年度千葉港ポートセミナーの様子

## 千葉中央埠頭コンテナターミナルの運営

千葉港では、平成６年６月に千葉中央埠頭コンテナターミナルを開設し、東京湾の国際物流拠点として運営しています。

現在、諸設備を整備し、荷役能力の更なる充実を図っており、スムーズな運搬を行うことで、国際物流サービスを担う最前線となっており、中国、韓国、東南アジア方面などへ定期コンテナ航路が開設されています。

### ●千葉港コンテナターミナル平面図 Ground Plan: Container Terminal, Chiba Port




| 番号 No. | 名　称 Name | 備　考 Notes | 番号 No. | 名　称 Name | 備　考 Notes |
|---|---|---|---|---|---|
| ❶ | 重量物ヤード<br>Heavy Goods Yard | コンテナ置場 430TEU<br>Container yard | ❼ | リーファー<br>Reefer | 冷凍コンテナ用電源設備 52基<br>Refrigerated container power facilities (52) |
| ❷ | コンテナヤード<br>Container Yard | コンテナ置場 1,400TEU<br>Container yard | ❽ | ガントリークレーン<br>Gantry Crane | コンテナの積載を行うクレーン　2基<br>吊上荷重約49t,定格荷重ISO1Aコンテナ30.5t<br>Container loading crane 2<br>Lifting capacity:49t, Rated for ISO1A 30.5t containers |
| ❸ | コンテナフレートステーション(CFS)<br>Container Freight Station (CFS) | コンテナ詰めや混載を行う施設 1棟1,934㎡<br>Container loading and consolidator facility 1 (1,934㎡) | ❾ | トラックスケール<br>Truck Scales | コンテナ積載車の計量施設 1棟<br>Container vehicles weighing facility 1 |
| ❹ | 管理棟<br>Administration Building | 管理業務 1棟<br>Administration building 1 | ❿ | 税関検査場<br>Customs Inspection Station | 税関検査業務<br>Customs inspection station |
| ❺ | メンテナンスショップ<br>Maintenance Shop | コンテナの修理場 1棟<br>Container repair location 1 | ⓫ | バンプール<br>Vanpool | 空コンテナ置場<br>Empty container yard |
| ❻ | メンテナンスエリア<br>Maintenance Area | コンテナの修理場<br>Container repair area | ⓬ | コンテナ専用岸壁<br>Dedicated Container Wharf | 水深−12m、バース延長240m、<br>エプロン幅24.5m<br>Depth 12m, Berth length:240m, Apron width:24.5m |

令和８年４月現在

